

(お知らせ)

柏崎刈羽原子力発電所 4号機原子炉付属建屋における  
火災報知器の発報について(続報)

平成 16 年 10 月 21 日  
東京電力株式会社  
柏崎刈羽原子力発電所

当所 4号機は定期検査中ですが、原子炉付属建屋 2階中央制御室用送排風機室(非管理区域)において、平成 16 年 10 月 21 日午後 8 時 4 分頃、火災報知器が発報したことから、午後 8 時 5 分頃、消防署へ通報しました。

当社運転員が同室内へ急行したところ、若干もやがかかった状況ではありましたが、火のないことを確認しておりました。(お知らせ済み)

消防署による現場確認を受けた結果、午後 9 時 20 分、「火災ではなくディーゼル発電機の煙を吸い込んだもの」との見解をいただきました。

なお、同建屋地下 1 階でディーゼル発電機の試運転を実施しており、発生した排気を吸い込んだことによるものと判断しております。

これによる周辺への放射能の影響はありません。

以 上

(お知らせ)

柏崎刈羽原子力発電所 4号機原子炉付属建屋における  
火災報知器の発報について(第3報)  
- 消防署より「ぼや火災」との判定 -

平成 16 年 10 月 22 日  
東京電力株式会社  
柏崎刈羽原子力発電所

当所 4号機は定期検査中ですが、原子炉付属建屋 2階中央制御室用送排風機室(非管理区域)において、平成 16 年 10 月 21 日午後 8 時 4 分頃、火災報知器が発報したことから、午後 8 時 5 分頃、消防署へ通報するとともに、当社運転員が同室へ急行し、火気のないことを確認いたしました。

消防署による現場確認の結果、昨晚の段階では火災ではないとの見解をいただき、同建屋地下 1 階で実施していたディーゼル発電機の試運転で発生した排気によるものと判断いたしました。

その後、屋上に設置してあるディーゼル発電機用排気管貫通部の補修作業用の防災シートが焦げていたことを確認したことから、本日、消防署により屋上の現場確認が再度行われ、その結果、午前 10 時 30 分頃、今回の事象は「防災シートの一部が炭化したぼや火災」であるとの判定をいただきました。

ぼや火災が発生した原因は、同発電機の運転に伴う排気管の熱の影響により防災シートの一部が炭化し、発生した煙が送排風機室に入り込み、同室の火災報知器が検知・作動したものと推定しております。

以 上